

文字 大 中 小 色 標準 黒 青 黄

回答内容入力



回答内容確認



回答完了

## R6 宮城県内企業等のデジタル化・DXに関するアンケート（テスト公開）

ヘルプ

## 回答内容の入力

## 操作方法のご説明

下記の入力フォームに必要な事項を入力した後、「回答内容の確認に進む」ボタンを押してください。  
途中まで入力した内容を一時保存したい場合、「回答内容を一時保存する」ボタンを押してください。

## 注意事項

**必須** マークがある項目は、必ず入力してください。  
機種依存文字（半角カナ、丸付き数字、ローマ数字、「崎」など）は使用しないでください。機種依存文字が入力されている場合はエラーになります。

宮城県では、県内企業等におけるデジタル化の現状を把握し、今後のデジタル化推進に係る施策を検討するため、「デジタル化・DXに関するアンケート」を実施いたしますので、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査で得られた情報については、県の内部で今後の施策立案等のために使用させていただくとともに、企業名等が特定できない集計結果の形で公表することはありますが、本アンケート調査で得られた個人情報とは適正に取り扱い、目的外に使用したり、個別の回答内容が公表されたりすることは決してありません。

&lt;回答所要時間（目安）&gt;

7分

※本アンケートにおける「デジタル化」とは、通信（インターネット等）やITツール（勤怠管理、給与計算システム、Web会議システム等）の導入、事業で得られる社内のデータ（POSデータ、経理データ、工場の稼働データなど）や外部のビッグデータの利活用、IoTやAIなどにより、自社の業務の一部／全部を改善することを指します。

回答内容を一時保存する

回答内容の確認に進む

テスト公開のため「回答内容を一時保存する」ボタンは操作できません。

貴社（支店、事業所、個人経営、団体を含む。以下同じ。）について以下の項目をお教えてください。

Q1 貴社は過去本調査に  
回答したことがありますか。

必須

- 回答した  
 回答していない  
 わからない

Q2 貴社名

必須

（支店等でご記載の場合はその名称までご記入ください）

Q3 所在地

必須

市区町村単位で選択ください

Q4 回答者の所属

必須

Q5 回答者の役職

必須

Q6 回答者のお名前  
必須

64文字以下で入力してください。

Q7 回答者の電話番号  
必須

(022-211-2478のように、半角数字とハイフン (-) で入力)

20文字以下で入力してください。

Q8 回答者のメールアドレス  
必須

254文字以下で入力してください。

メールアドレス1

確認用

メールアドレス1とは別のメールアドレスでも通知メールを受信したい場合、メールアドレス2を入力してください。  
メールアドレス2 (任意)

確認用

※メールアドレス1、2に送信される通知メールの内容は同一です。

※スマートフォンの場合、ドメイン指定受信を設定されている方は「elg-front.jp」を受信できるよう指定してください。

Q9 従業員数 (派遣・パートを含む)  
必須

- 5人以下  
 6~20人  
 21~50人  
 51~100人  
 101~300人  
 301人以上

Q10 主な業種 (もっとも当てはまるものを1つ選んでください)  
必須

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

貴社のデジタル化の取組状況についてお聞きます。

Q11 貴社の現在のデジタル化の取組段階をお答えください。  
必須

- 進んでいない 例：E-mail、表計算ソフトの導入等  
 あまり進んでいない (業務・生産プロセスの一部に対してデジタル技術を導入) 例：発注書など書類作成の電子化・自動化、勤怠管理システムの導入等  
 ある程度進んでいる (業務・生産プロセス全体に対してデジタル技術を導入) 例：発注書など書類作成から相手企業とのやりとり、決裁に至るまでのプロセスの電子化、自動化等  
 進んでいる (各業務・生産プロセスを組み合わせた全社的な業務・生産プロセスに対しデジタル技術を導入) 例：販売データやマーケティングデータの活用で需要予測を行い、その結果をもとにした調達・生産・在庫管理の実施等  
 かなり進んでいる (全社的な業務・生産プロセスの改善や企業変革を踏まえたビジネスモデルの抜本的な転換や、新規事業／新製品・サービスを創出している) 例：製品・サービスの提供方法の販売からサブスクリプションへの変更等

Q12 貴社はデジタル化推進のために、ITツール等を

- 保有・活用している  
 保有・活用していない

保有・活用していますか。

必須

把握していない

Q13 ITツール等を保有・活用している場合、現在どのようなITツール等を保有・活用していますか。（複数回答）

必須

- 文書（電子化、電子決裁、CAD等）
- 人事（勤怠管理・給与計算システム等）
- 会議（オンライン会議ツール等）
- 経理（会計システム等）
- コミュニケーション（グループウェア・チャットツール等）
- SFA（営業支援システム）・CRM（顧客管理システム）
- ECサイト
- ERP（統合基幹業務システム）
- 生産管理（工程管理システム等）
- 受注・発注管理
- BIツール（データの収集、分析、加工等）
- AIの活用（需要予測や顧客分析等）
- RPA（業務プロセス自動化ツール）
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q14 Q13でお答えいただいた、現在保有・活用中のITツール等について、どの程度効果が出ていますか。

必須

- 大きく効果が出た
- 効果が出た
- あまり効果が出ていない
- 全く効果が出ていない

Q15 Q14で「あまり効果が出ていない」もしくは「全く効果が出ていない」とお答えした方にお聞きます。貴社で効果が出ていない理由について、どのようにお考えかお答えください。（複数回答）

- 導入したツールやデータが自社の業務や課題とマッチしなかった
- ツールやデータを使いこなせる人材が不足していた
- ツールやデータの活用が社内で浸透しなかった
- 事前に想定していたツールやデータ活用による成果があらなかった
- 保守や運用のコストを見込んでいなかった
- パートナー企業（IT企業等）の協力が足りなかった
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q16 今後導入したいITツール等にはどのようなものがありますか。（複数回答）

必須

- 文書（電子化、電子決裁、CAD等）
- 人事（勤怠管理・給与計算システム等）
- 会議（オンライン会議ツール等）
- 経理（会計システム等）
- コミュニケーション（グループウェア・チャットツール等）
- SFA（営業支援システム）・CRM（顧客管理システム）
- ECサイト

- ERP（統合基幹業務システム）
- 生産管理（工程管理システム等）
- 受注・発注管理
- BIツール（データの収集、分析、加工等）
- AIの活用（需要予測や顧客分析等）
- RPA（業務プロセス自動化ツール）
- ITツールを導入する予定はない
- 把握していない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q17 貴社でのデジタル関連情報の収集方法について当てはまるものをお答えください。（複数回答）

必須

- メディア媒体から収集（新聞、書籍、テレビ等）
- 行政/公的支援機関から収集（自治体、商工団体等）
- セミナー・研修へ参加
- 営業活動の中で収集（取引先、同業者間で情報交換）
- IT企業/販売代理店/情報関連事業者から収集
- 支援機関から収集（金融機関、税理士、会計士等）
- 専門機関から収集（コンサルタントへ依頼等）
- 情報収集はしていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

デジタル化の課題認識についてお聞きます。

Q18 予算（コスト）がデジタル化を進める上での課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか。（複数回答）

必須

- 費用対効果の算出方法がわからない
- 費用対効果が低く、投資の回収の見通しが立っていない
- デジタル化に限らず新たな投資をする資金の確保が困難
- デジタル化に関する予算はあるが、既存システムのメンテナンスに費用を要するため資金の確保が困難
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q19 組織・体制がデジタル化を進める上での課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題

- 社全体で合意を得ている方針がない
- デジタル化を進める組織がない
- 社員にデジタル化に対する抵抗感がある

ですか。(複数回答)

必須

- 経営者にデジタル化に対する抵抗感がある
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q20 人材・知識・ノウハウがデジタル化を進める上で課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか。(複数回答)

必須

- デジタル人材が不足しており採用に力を入れているが成果がない
- デジタル人材の育成計画や採用計画、活躍できる場がない
- 個々の従業員が多忙なため、研修を受けることができない
- 社内研修等において、教える側の数や質が十分でない
- 自社の組織体制や業務の変革の仕方がわからない
- 自社の課題がわからない
- 自社の課題に対しての解決方法・手段がわからない
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q21 パートナー（IT企業）がデジタル化を進める上で課題だと認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか。(複数回答)

必須

- コストが高い
- 自社のビジネスや業務、ニーズへの理解が不足している
- ベンダーロックイン（ほかのパートナーへの乗り換えが困難）の状態である
- 何を基準に選んでいいのか分からない
- そもそもどうやって探していいか分からない
- 課題と感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

貴社のデジタル化の体制についてお聞きます。

Q22 貴社の経営トップは、デジタル化に関してどの程度責任を持って進めていますか。

必須

- デジタル化は重要な経営課題であると認識し、トップダウンで対応を進めている、またはトップダウンで対応を進めることを表明している
- デジタル化は経営課題であると認識しているが、トップダウンで対応を進めることまでは表明していない
- デジタル化は経営課題と認識していない

Q23 貴社においてデジタル化を推進する専門の部署（部、課室、グループ等）又は職位はありますか

- システム管理部署
- デジタル化推進部署
- 経営者

か。  
必須

- その他部署、職位等
- 専門部署、職位はない

Q24 デジタル化の推進について、貴社の社員の意識をお答えください。

必須

- 積極的である
- やや積極的である
- やや抵抗感がある
- 抵抗感がある
- わからない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。  
「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q25 貴社がデジタル化を推進する人材を確保するにあたり、どのような方法を行っていますか（行う予定ですか）。（複数回答）

必須

- 既存社員の育成
- 専門職（デジタル人材）の新卒採用
- 経験者の正社員としての活用
- 経験者の副業・兼業としての活用
- 特に何も行ってない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。  
「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q26 貴社がデジタル化を進めていく上で、必要と感じる支援についてお答えください。（複数回答）

必須

- デジタル化による生産性向上等についての事例紹介
- ユーザー企業のニーズや課題をIT企業等に伝える場
- IT企業等の保有技術をユーザー企業にPRする場
- デジタル化に関する個別コンサルティング（アドバイザー派遣等を含む）
- デジタル化人材育成のサポート
- IT企業等に対する人材育成のサポート
- 類似課題を持つ同業者の紹介
- 類似課題を持つ異業種他社の紹介
- デジタル化に関する補助金の拡充
- 特にない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。  
「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

デジタル化に係る宮城県の支援制度についてお聞きます。

Q27 人材育成事業に参加する場合、どのような点を重視しますか。(複数回答)

必須

- 就業時間外の開催
- オンライン開催
- アーカイブ視聴ができる等フォロー体制がある
- 多様なバックグラウンドを持つ講師から学ぶことができる
- そもそも必要としていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q28 人材育成事業のプログラムについて、参加したと思うのはどのような内容ですか。(複数回答)

必須

- 役職別（担当者、管理職、経営者等）のプログラム
- 部門別（管理、製造、営業等）のプログラム
- 講義中心のプログラム
- 実践中心のプログラム
- ケーススタディ中心のプログラム
- 参加企業同士の交流
- ベンダー企業とのマッチングの機会
- そもそも必要としていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q29 セミナーについて、参加したいと思うのはどのような内容ですか。(複数回答)

必須

- 実際にデジタル化・DXを活用した企業による事例紹介
- 基礎的な講義内容（DXの定義、グループウェアの要素技術の紹介等）
- 高度な講義内容（AI、IoT技術の紹介等）
- 基礎スキルを学ぶ実践的な内容（グループウェアの要素技術の活用方法等）
- 高度スキルを学ぶ実践的な内容（AI・IoT技術の活用方法等）
- 業種を絞った具体的な内容
- そもそも必要としていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q30 補助金について、活用したいと思うのはどのような内容ですか。(複数回答)

必須

- 大規模事業（総事業費500万円超）を想定した補助金
- 中規模事業（総事業費100万円以上500万円以下）を想定した補助金
- 小規模事業（総事業費100万円未満）を想定した補助金
- 補助対象にソフトウェア（会計ソフト、グループウェア等）の購入・構築・利用料が含まれる
- 補助対象にハードウェア（POSレジ、パソコン機器等）の購入費が含まれる

- 補助対象に専門家経費（研修費、指導費等）が含まれる
- 取組内容の検討や書類作成にアドバイザーが伴走支援してくれる
- そもそも必要としていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

貴社のセキュリティ対策状況についてお聞きます。

Q31 現在貴社ではどのようなセキュリティ対策を実施していますか。（複数回答）

必須

- セキュリティ対策専門部署（担当者）の設置
- セキュリティ方針、インシデント対応マニュアル等の策定
- 社員向け教育の実施
- 設備室の施錠、出入管理やPCパスワード設定等による機密管理
- ファイアウォール、UTM（統合脅威管理）、VPN（専用回線網）等ネットワーク関連対策
- ウイルス対策ソフト/サービスの導入
- 保守/運用を外部企業に委託しているため詳細を把握していない
- 特に何も行ってない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q32 貴社がセキュリティ対策を進める上で課題を認識している場合、それは具体的にどのような課題ですか。（複数回答）

必須

- 社全体で合意を得ている方針がない
- 費用対効果が見えない
- どのように始めたらよいか分からない
- 維持管理コストが増大する
- 実施人材の確保
- 必要性を感じていない
- 課題を感じていない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。

「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

Q33 貴社がセキュリティ対策を進めていく上で、必要と感じる支援についてお答えください。（複数回答）

必須

- セキュリティ対策の事例紹介
- ユーザー企業のニーズや課題をIT企業等に伝える場
- IT企業等の保有技術をユーザー企業にPRする場
- セキュリティ対策に関する個別コンサルティング（アドバイザー派遣などを含む）
- 社内セキュリティ人材育成のサポート
- 一般社員向けセキュリティ教育のサポート



- 類似課題を持つ同業者の紹介
- 類似課題を持つ異業種他社の紹介
- 特にない
- その他

「その他」を選択した場合に入力してください。  
「その他」を選択していない場合は、入力内容は破棄されます。

## お問い合わせ

<担当>

宮城県企画部産業デジタル推進課 嶺（みね）

Tel : 022-211-2478

Email : sandigi1@pref.miyagi.lg.jp

[回答内容を一時保存する](#)

[回答内容の確認に進む](#)

テスト公開のため「回答内容を一時保存する」ボタンは操作できません。

## ご利用にあたり

[サイトマップ](#)

[↑  
ページの  
先頭へ](#)